日刊 動労千葉

81.7.6

No.784

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一－八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

銚子を分裂させたのは誰か、それは三信ビル・「本部」反動分子だ！

動労千葉11支部の仲間と共に進もう

二年三ヶ月の苦闘をのりこえ6月29日結成された銚子支部は、いま動労千葉10支部と共に着実な支部活動を開始している。7月6日には、第二回支部執行委員会を開催し、組織体制の確立と当面する取り組みを決定し、翌7日には千葉局での運転保安交渉を行う。一方、三信ビル・「本部」反動分子は、自らの"指導"によって6月20日銚子解散＝分裂を強行させたことを居直り、正当化せんとして詭気を荒立てて「千葉動労の排外主義的キャンペーンを許すな」「銚子を分裂させたのは千葉動労」等とまたまたデマ宣伝をしている。「本部」反動分子諸君よ！何度でもくり返しデマ宣伝をするがよい。しかし、動労千葉組織破壊に失敗するやデッチあげ告訴をもって権力に弾圧を要請するという動労運動史上かってない反階級的暴挙＝労仂組合ならざる労仂組合に転落した諸君には、労仂運動を語る資格はないのである。せいぜい権力と仲好くして明日のない未来を語りあうのが為似合である。

銚子を分裂させたのは、「本部」反動分子だ

三信ビル・「本部」反動分子は、デマ「千葉地本情報」(No.73)の雑文をもって「銚子を分裂させたのは俺達ではない」と云い訳をしている。しかし、この雑文の末尾にこっそりと自信無げに「動労銚子支部の再建は、千葉動労を追いつめている」と書き入れていることの中に実は、自らのセクト的利害＝動労千葉解体のために銚子を分裂させたのが「本部」反動分子であることを自己暴露している。彼ら「本部」反動分子・三信ビルこそ、一貫した銚子支部破壊＝分裂強行の張本人である。

心ある全ての銚子の仲間は、この事実を直視し、一日も早く動労千葉銚子支部のもとに結集し闘おう。

「本部」反動分子の銚子分裂＝破壊策動の第一は、

「銚子は中立であり、どこの組合にも属さない」という支部方針のもとにあって、銚子の一本化のために執行部はじめ多くの組合員が悩み考えていた本年三月末から四月にかけて、「本部」反動分子と土屋粋一派は東務員の事故に対する不安感をとりこみ「土屋粋に身柄をあづける」なる署名をとって「『本部』東務員共済会費」を徴収し、「もし事故を起したら『本部』にさかのぼって組合費を納入すれば面倒はみる」と言って事実上の分裂策動を行っていたのである。

第二は、

6月20日、銚子支部臨時大会で「銚子は解散せよ」との動議を提出し、積極的に分裂を主張したのは、誰であろう「本部」派の"有名人"山田(柱)その人ではなかったのか。しかも大会終了後あらかじめ用意していた銚子市内某旅館に集まり「業務再開」を決定し、直ちに国鉄当局へその旨電話で通告し、6月22日には、文書をもって当局に通告していたのである。以上の事実で明らかな通り、銚子全組合員の大同団結すべきであるという声を踏みにじり、終始、分裂を策動し実行したのは、「本部」反動分子・三信ビル・土屋粋一派である。

動労千葉は、かかる「本部」反動分子とそれに追随する一部諸君による銚子分裂強行という不幸な事態を克服し、銚子の利益と、大同団結を目指して、動労千葉銚子支部を6月29日に結成した。

これに慌てふためいて「本部」反動分子は、6月30日、再び銚子市内某旅館に「集会」と称して「本部」派の一部を呼びよせ役員を改選するというブザマな姿をさらけ出している。

銚子運転区の仲間のみなさん！

動労千葉破壊のために、今や権力にデッチ上げ告訴までするという反労仂者的行為に走った「本部」反動分子に、これ以上職場をじゅうりんさせてはならない。動労千葉に結集し、共に闘おう。

動労千葉支援基金（7/4現在）二千三百六万四千百拾五円に達す！